

山本太郎「Rimpa Reflection」

会期：2024年7月20日(土)～8月9日(金) ※日曜・月曜・祝日休廊
(オープニングレセプション：7月20日(土)15:00 - 18:00)

時間：12:00 - 18:00 / 場所：imura art gallery



山本太郎《Flowers Iris Reflection》紙本着色金銀彩, 53×53cm, 2024 (Photo:伊藤信)

この度、イムラアートギャラリーでは、ニッポン画家・山本太郎による個展「Rimpa Reflection」を開催いたします。

山本太郎は、1999年より日本の古典絵画と現代風俗を融合させた「ニッポン画」を提唱し、伝統的でありながらも革新に満ちた作品を数多く手がけてきました。近年、山本は「ニッポン画」の新たな試みとして、浮世絵に着目し、それらの図様をポップアート風アレンジした「NEO UKIYOE」に取り組んでいます。

本展では、この「NEO UKIYOE」に加え、今回初公開となる新シリーズ「Flowers Iris」をご紹介します。本シリーズは、琳派の大成者・尾形光琳の代表作である《燕子花図屏風》から着想を得て制作されました。金箔をふんだんに使用した絢爛たる画面に、リズムカルに配された群青と緑青の燕子花の群生、日本人にとって非常に馴染み深いこの図柄に、山本は現代的な色彩・デザイン感覚を取り入れようとしたのでした。

こうしたアイデアに強く影響を与えたものとして、アンディ・ウォーホルの《Flowers》シリーズが挙げられます。この有名な花のイメージには、多くのカラー・ヴァリエーションが存在します。ウォーホルは、シルクスクリーン印刷を用いて、鮮烈な色彩で平面化・抽象化したイメージを繰り返し生み出したのでした。実のところ、光琳もモチーフの反復という技を駆使した絵師でした。《燕子花図屏風》において、光琳が型紙を用いて一部図柄を画面内で繰り返していたことが明らかになっています。

光琳とウォーホル、一見時代も国も全く異なるように思われるこの二人の芸術に、山本は共通性を見出しつつ、独自の感性でそれぞれの特徴を引き出し、より洗練された作品を展開します。伝統的な図像と現代の色彩感覚が見事に組み合わさった山本の新作を、是非会場でご高覧ください。

—作家ステイトメント

琳派は時代ごとに繰り返され、また時代を超えて日本の美術や工芸に多大な影響を与えてきました。私も影響を受けた一人です。その琳派の影響が反射(Reflection)された新作シリーズでの個展を開催します。

私は近年、浮世絵をベースにポップアートのテイストを加えた「NEO UKIYOE」のシリーズを展開してきました。浮世絵は江戸時代のポップアートとも言われています。「NEO UKIYOE」はそれを現代的にアップデートさせました。

浮世絵を代表する絵師である葛飾北斎は画号を頻繁に変えたことでも有名ですが、実は勝川派を離脱した一時期に二世俵屋宗理を名乗っていたことがあります。そういう意味では北斎は実は琳派でもあったのです。

琳派と浮世絵は同じ日本美術と言っても画風が少し違っているのですが、それでも京都の町衆や江戸の町人といった支配層ではない普通の人々の間で人気があったという共通点があります。

そうした北斎の画歴をオマージュする意味でも、「NEO UKIYOE」のシリーズとそれを発展させた「RIMPA REFLECTION」のシリーズを同時に発表します。

「RIMPA REFLECTION」はアンディ・ウォーホルの「Flowers」のシリーズと尾形光琳の「燕子花図屏風」の両方からインスパイアされた「Flowers Iris」のシリーズが初お披露目となります。

ギャラリー内がお花畑になったようなポップで華やかな空間を目指しますのでぜひ楽しんでいただければと思います。

山本太郎

山本太郎 / Taro Yamamoto

◆略歴

1974 熊本県生まれ

1999 ニッポン画を提唱

2000 京都造形芸術大学 美術学科日本画コース卒業

2013~2018 秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻 准教授

2018~2022 京都造形芸術大学(現:京都芸術大学) 基礎美術コース 准教授

2022~ 京都美術工芸大学特任教授

◆主な個展

- 1999 「ニッポン画」 複眼ギャラリー(大阪)
- 2005 「Who's clothes?-誰ケ袖-」 立体ギャラリー射手座(京都)
- 2006 「日本 画屏風祭」 立体ギャラリー射手座(京都) 他京都市内9会場
- 2007 「日々是日本 ~ヒビコレニッポン~」 Bunkamura Arts&Crafts(東京)
- 2008 「山本太郎展」 イムラアートギャラリー(京都)
- 2009 「山本太郎展 ~ニッポン画物見遊山~」 美術館「えき」KYOTO(京都)
- 2010 「山本太郎個展 古典 -the classics- Tales」 第一生命南ギャラリー(東京)
- 2011 「山本太郎展 古典 -the classics- チェリー」 イムラアートギャラリー(京都)
- 2012 「JHQ」 イムラアートギャラリー(東京)
- 「Nippon Ga: Contemporary Visions of Classical Japanese Art」 ART ATRIUM(オーストラリア / シドニー)
- 2013 「24/24 -twenty four twenty fourth-」 イムラアートギャラリー(京都)(東京)
- 「ニッポン画顔見世」 project room sasao(秋田)
- 2014 「古画光臨—Coga Calling-」 日本橋高島屋(東京)
- 2015 「平成琳派 山本太郎×芸艸堂」 イムラアートギャラリー(京都)
- 2017 「#アケオメリクリ 山本太郎の紅白の部屋」 BIYONG POINT(秋田)
- 2018 A-lab Exhibition Vol.15 尼崎城プロジェクト関連企画『時代とあそぶ たびする つくる』「山本太郎展」
あまらぶアートラボA-lab(兵庫)
- 2019 「山本太郎 個展 太郎冠者と太郎画家 茂山千之丞襲名披露記念|装束披露」 イムラアートギャラリー(京都)
- 2020 「—令和琳派— 山本太郎 ニッポン画」 大阪高島屋(大阪)・新宿高島屋(東京)・横浜高島屋(神奈川)
- 2021 ニッポン画×浮世絵プロジェクト 京都芸術大学芸術館 秋季特別展 「推し世絵」 京都芸術大学(京都)
- 2022 「推し世絵 令和の役者絵」 大阪高島屋(大阪)・京都高島屋(京都)
- 「山本太郎清水寺プロジェクト」 京都美術工芸大学の学生とのコラボレーション企画 清水寺経堂(京都)
- 「たろうつながぎプロジェクト成果展 たろうとニッポン画わたし話」 つなぎ美術館(熊本)
- 2023 「山本太郎のニッポン画ランド」 ART SHINSAIBASHI TRENDING ART SPECIAL
心斎橋PARCO 14F PARCO GALLERY/SPACE 14(大阪)
- 「山本太郎展 Gacha-Pop★Nippon-Ga ガチャポップ★ニッポン画」 神戸阪急 本館4階 アートギャラリー(兵庫)
- 「山本太郎 -NEO UKIYOE-」 新宿高島屋(東京)
- 2024 「山本太郎展 ニッポン画 初花月」 小松クラフトスペース(秋田)
- 「日本画×ニッポン画 山本太郎の世界展」 神戸阪急(兵庫)

◆主なグループ展・企画展

- 1999 「第四回昭和シェル石油現代美術賞展」 目黒区美術館(東京)
- 2000 「フィリップモリスアートアワード2000」 恵比寿ガーデンプレイス(東京)
- 2004 「京都府美術工芸新鋭選抜展 2004 -新しい波-」 京都府京都文化博物館(京都)
- 2005 「日本画ジャック」 京都府京都文化博物館(京都)
- 2006 「砂の女と現代の美術」 京都芸術センター(京都)
- 2007 「VOCA展 2007」 上野の森美術館(東京)
-

- 2008 「『日本画』の精華 -江戸から現代まで」 富山県水墨美術館(富山)
- 2009 「子どもびじゅつかん 日本画探検 ~古い絵と新しい絵~」 板橋区立美術館(東京)
「九州ゆかりの日本画家たち」 熊本市現代美術館(熊本)
- 2011 「九州新幹線全線開業特別企画(井手ギャラリー)キャラクターズ-九州ゆかりの若手作家たち」
熊本市現代美術館(熊本)
「SENDAI SOHO PROJECT 卸町 ART FESTA 2011」 仙台・卸町(宮城)
- 2012 「第五回東山魁夷記念 日経日本画大賞展」 上野の森美術館(東京)
「Kamisaka Sekka: Dawn of modern Japanese design」
ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館(オーストラリア / シドニー)
「KAMIKOANI PROJECT AKITA」 上小阿仁村 八木沢集落(秋田)
「ネオ・クラシック!カクノダテ」 角館 安藤醸造元本店蔵座敷(秋田)
- 2013 「ジパング展 -沸騰する日本の現代アート」
高崎市美術館(群馬)、八戸市美術館(青森)、秋田県立近代美術館(秋田)
「The Audacious Eye -Japanese Art from the Clark Collections-」 ミネアポリス美術館(アメリカ)
- 2014 「あきたの美術」 秋田県立美術館県民ギャラリー(秋田)
- 2015 「第六回東山魁夷記念 日経日本画大賞展」 上野の森美術館(東京)
「琳派四百年 古今展—細見コレクションと京の現代美術作家」 細見美術館(京都)
「琳派四百年記念特別企画展 京都画壇にみる琳派のエッセンス—ユーモアとウィット—」
堂本印象美術館(京都)
「琳派からの道 神坂雪佳と山本太郎の仕事」 美術館「えき」KYOTO(京都)
「風神レイ&雷神カイロ・レン屏風・お披露目展示」 清水寺(京都)
- 2016 「異界をひらく—百鬼夜行と現代アート—」 秋田県立美術館(秋田)
「IMAYŌ今様: JAPAN'S NEW TRADITIONISTS」 ハワイ大学アートギャラリー/ホノルル美術館(ハワイ)
「NIHON画—新たな地平を求めて—」 豊橋市美術博物館(愛知)
- 2017 「今様 昔と今をつなぐ」 渋谷区立松濤美術館(東京)
「開館40周年記念展覧会 おもかげものがたり—山本太郎作品と館藏品と—」 島田美術館(熊本)
- 2018 「第七回東山魁夷記念日経日本画大賞展」 上野の森美術館(東京)
「Nihonga」展 MICHEKO GALERIE(ドイツ / ミュンヘン)
- 2019 「UTSUSHI 山本太郎×宮川真一 2人展」 銀座三越7階ギャラリー(東京)
「日本の美 美術×デザイン 琳派、浮世絵版画から現代へ」 富山県美術館(富山)
- 2020 「神宮の杜芸術祭「紫幹翠葉(しかんすいよう)—百年の杜のアート」 明治神宮ミュージアム(東京)
「リニューアル・オープン記念展I ART in LIFE, LIFE and BEAUTY」 サントリー美術館(東京)
- 2022 「ART@DAIMARU」 大丸京都店(京都)
「TIDE—潮流が形になるとき—」 kagoo(大阪)
- 2023 「VOCA30周年記念 1994-2023 VOCA30 Years Story/Kobe」
兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー(兵庫)
「シン・ジャパニーズ・ペインティング 革新の日本画」 ポーラ美術館(神奈川)
「原神フォンテーヌ展覧会」 ラフォーレミュージアム原宿(東京)
「今、日本画が熱い ~時代を切り拓く Neo Japonismの作家たち~」 博多阪急(福岡)
-

◆パブリックコレクション

京都造形芸術大学

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社

第一生命保険株式会社

株式会社東北新社

石川県政しいのき迎賓館

熊本市現代美術館

Art Gallery of New South Wales(オーストラリア)

国立ヴィクトリア美術館(オーストラリア)

ミネアポリス美術館(アメリカ)

任天堂株式会社

佐藤美術館

島田美術館

つなぎ美術館

◆受賞

1999 第四回昭和シェル石油現代美術賞 入選

2000 フィリップモリスアワード2000 入選

2007 VOCA賞

2012 第五回東山魁夷記念 日経日本画大賞 入選

2015 京都府文化賞 奨励賞

2015 京都市芸術新人賞

2015 第六回東山魁夷記念 日経日本画大賞 入選

2018 第七回東山魁夷記念 日経日本画大賞 入選

imura art gallery

〒606-8395

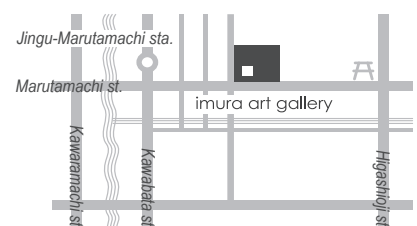
京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31

開廊時間：火曜日～土曜日 / 12:00 - 18:00

休廊日：日・月・祝祭日

Tel : 075-761-7372 / Fax : 075-761-7362

E-mail : info@imuraart.com



京阪電車：「神宮丸太町」4番出口より徒歩3分
市バス：「丸太町京阪前」下車徒歩2分

Taro Yamamoto “Rimpa Reflection”

Period : 2024.7.20(Sat.) – 8.9(Fri.)

Hours : 12:00 – 18:00

Venue : imura art gallery

Opening Reception : 7.20(Sat.) 15:00 – 18:00

*Closed on Mondays, Sundays and National Holidays



Taro Yamamoto 《Flowers Iris Reflection》
Japanese mineral pigment on paper with gold and silver leaf, 53×53cm, 2024 (Photo by Makoto Ito)

Imura art gallery is pleased to announce *Rimpa Reflection*, a solo exhibition by Nippon-ga artist Taro Yamamoto.

Since 1999, when he advocated “Nippon-ga,” a fusion of Japanese classical painting with contemporary styles, Taro Yamamoto has produced a large body of works that are traditional, but also rich in innovative style. Recently, Yamamoto has been working on a new Nippon-ga project called *NEO UKIYOE*, in which he focuses on ukiyo-e, but gives the images a pop art arrangement.

This exhibition presents the artist’s *NEO UKIYOE* works along with his new *Flowers Iris* series, inspired by the folding screen masterpiece *Irises* by Ogata Korin, who is known for perfecting the Rimpa style. Yamamoto aims to incorporate a contemporary sense of color and design into motifs that are very familiar to Japanese viewers, featuring irises, groups of plants with deep blue and bluish-green colors, rhythmically arranged in ornate pictures in which lavish use is made of gold leaf.

Andy Warhol’s *Flowers* series is an example of the influence of such ideas. These famous images of flowers come in many color variations. Using silk-screen printing, Warhol repeatedly produced images rendered in a two-dimensional, abstracted manner with vivid colors. Korin was also an artist who freely used this technique of repeating motifs. It is now known that Korin used stencils to reproduce some of the motifs rendered in *Irises*.

Discovering commonalities between Korin and Warhol, two artists who at first glance seem to be the products of completely different times and countries, Yamamoto uses his own distinctive sensibility to extract their respective properties and produce works of greater refinement. This solo exhibition reveals how Yamamoto’s new works brilliantly combine traditional iconography with a contemporary sense of color.

—Artist's Statement

Over the centuries, Rimpa has transcended time to exert a tremendous influence on Japanese art and *kogei* craftwork in each period. My own work is no exception, and here I feature new series that reflect this influence from Rimpa.

Recently, I have been working on my *NEO UKIYO*E series, which is based on ukiyo-e, but has a pop art taste. Ukiyo-e is sometimes referred to as the pop art of the Edo Period, and my *NEO UKIYO*E series is a contemporary update in the same vein. Famous ukiyo-e artist Katsushika Hokusai, who is well-known for having frequently changed his name, actually left the Katsukawa school at one point, and adopted the name Tawaraya Sori. By echoing the name of one of the originators of Rimpa, Hokusai was declaring that his work incorporated a Rimpa lineage.

While Rimpa and ukiyo-e are both clearly Japanese art, they have somewhat different styles. Nevertheless, they have in common the fact that rather than being the art of the ruling classes, they enjoyed popularity among the general populus, such as the *machishu* merchants of Kyoto or townspeople of Edo. As an homage to Hokusai's career as a painter, I am exhibiting the *NEO UKIYO*E series as well as the *RIMPA REFLECTION* series, which is a further development from *NEO UKIYO*E.

For *RIMPA REFLECTION*, I present for the first time my *Flowers Iris* series, which was inspired by Andy Warhol's *Flowers* series and Ogata Korin's *Irises*. And I have attempted to give the gallery a colorful, pop art flavor, resembling a flower garden.

Taro Yamamoto

山本太郎 / Taro Yamamoto

◆Profile

1974 Born in Kumamoto

1999 Starts advocating "Nippon-Ga"

2000 Graduated at Kyoto University of Art and Design, Kyoto, with a BFA in Japanese painting.

2013~2018 Associate professor of Arts & History course at Akita University of Art

2018~2022 Associate Professor of Kyoto University of Art and Design

(currently. Kyoto University of Arts) Kyoto Art Course

2022~ Specially Appointed Professor of Kyoto University of Arts and Crafts

◆Selected Solo Exhibitions

- 1999 "Nippon-Ga", Fukugan gallery, Osaka
- 2005 "Who's clothes?", Gallery Iteza, Kyoto
- 2006 "Nipponga Byobu Matsuri", Gallery Iteza and 9 other places, Kyoto
- 2007 "Hibi Kore Nippon", Bunkamura Arts&Crafts, Tokyo
- 2008 "Taro Yamamoto exhibition", imura art gallery, Kyoto
- 2009 "Taro Yamamoto solo exhibition -Nippon-Ga new but classical Japanese art", MUSEUM "E-KI", Kyoto
- 2010 "Taro Yamamoto Solo Exhibition -the classics– Tales", Dai-ichi Life Gallery, Tokyo
- 2011 "Taro Yamamoto solo exhibition - the classics - cherry", imura art gallery, Kyoto
- 2012 "JHQ", imura art gallery, Tokyo
"Nippon Ga: Contemporary Visions of Classical Japanese Art" ART ATRIUM, Sydney, Australia
- 2013 "24/24 -twenty four twenty fourth-", imura art gallery, Kyoto / Tokyo
"Nippon-Ga KAOMISE", Project Room Sasao, Akita
- 2014 "Coga Calling", Nihombashi Takashimaya, Shinjuku
- 2015 "Heisei Rinpa Nippon-ga × Unso-do", imura art gallery, Kyoto
- 2017 "#Akeomerikuri Merry Xmas and Happy new year Taro Yamamoto's Red and. White Room",
BIYONG POINT, Akita
- 2018 A-lab Exhibition Vol.15 Amagasaki Castle Project related project
"Play, Travel and Create with the Era Taro Yamamoto Exhibition", A-lab, Hyogo
- 2019 "Taro-Kajya and Taro-Painter. Shigeyama Sennojyo's succession commemoration ceremony |
Costume presentation", imura Art Gallery, Kyoto
- 2020 "—Reiwa era Rinpa School— Taro Yamamoto Nippon-ga Paintings", Osaka Takashimaya , Osaka /
Shinjuku Takashimaya, Tokyo / Yokohama Takashimaya, Kanagawa
- 2021 "Oshiyoe", Kyoto University of the Arts Geijutsu-kan, Kyoto
- 2022 "Oshiyo-e Reiwa Actor Pictures", Osaka Takashimaya, Osaka / Kyoto Takashimaya, Kyoto
"Taro Yamamoto Kiyomizu-dera Project", Collaboration project with students from
Kyoto University of Arts and Crafts Kiyomizu-dera Kyodo , Kyoto
"Taro Tsunagi Project Results Exhibition: Taro and Nippon-ga Paintings with New folktales",
Tsunagi Art Museum, Kumamoto
- 2023 "Taro Yamamoto's Nippon-ga Land" ART SHINSAIBASHI TRENDING ART SPECIAL,
Shinsaibashi PARCO 14F PARCO GALLERY / SPACE 14, Osaka
"Gacha-Pop★Nippon-Ga", Kobe Hankyu Main. Building 4th floor Art Gallery, Hyogo
"TaroYamamoto –NEO UKIYOE–", Shinjuku Takashimaya, Tokyo

◆Selected Group Exhibitions

- 1999 "The 4th Showa Shell Sekiyu Contemporary Art Prize", Meguro Museum of Art, Tokyo
- 2000 "Philip Morris Art Award 2000", YEBISU GARDEN PLACE, Tokyo
- 2004 "Selected Artists in Kyoto 2004 -New Wave-", The Museum of Kyoto, Kyoto
- 2005 "Nihonga Jack", The Museum of Kyoto, Kyoto
-

- 2006 "incubation 05", Kyoto Art Center, Kyoto
- 2007 "VOCA 2007:The Vision of Contemporary Art", The Ueno Royal Museum, Tokyo
- 2008 "The Quintessence of JAPANESE-STYLE PAINTING : from the Edo Period to the Present"
The Suiboku Museum, Toyama
- 2009 "The Expedition to Nihonga", Itabashi Art Museum, Tokyo
"Japanese style painters connected to Kyushu", Contemporary Art Museum Kumamoto, Kumamoto
- 2011 "Caracters - Young artsits from Kumamoto", Contemporary Art Museum Kumamoto, Kumamoto
"SENDAI SOHO PROJECT - OROSHIMACHI ART FESTA 2011," OROSHIMACHI, Sendai, Miyagi
- 2012 "The 5th Kaii Higashiyama Memorial Nikkei Grand Prize on Japanese Painting Exhibition",
The Ueno Royal Museum, Tokyo
"Kamisaka Sekka: Dawn of modern Japanese design", Art Gallery of New South Wales, Sydney, Australia
"KAMIKOANI PROJECT AKITA", Yagisawa village, Akita
"Neo-Classic Kakunodate" Ando Jyozo (miso & soy sause maker), Akita
- 2013 "ZIPANGU", Takasaki City Museum of Art, Gunma / Hachinohe City Museum of Art, Aomori /
Akita Museum of Modern Art, Akita
"The Audacious Eye -Japanese Art from the Clark Collections-", Minneapolis Institute of Arts,
Minneapolis, USA
- 2014 "Art of Akita" Akita Museum of Art, Akita
- 2015 "The 6th Kaii Higashiyama Memorial Nikkei Nihonga Prize", The Ueno Royal Museum, Tokyo
"The Hosomi Collection and the Contemporary Artists of Kyoto" Hosomi Museum, Kyoto
"Essence of Rimpa Appearing on Japanese Painting Circles in Kyoto—Humor and Wit",
Kyoto Prefectural Insho—Domoto Museum of Fine Arts, Kyoto
"Celebrating 400 Years of Rimpa :The Road from Rimpa- The Works of Kamisaka Sekka and Yamamoto Taro",
Museum "Eki" KYOTO
"Ray as the wind god & Kylo Ren as the thunder god in Star Wars: The Force Awakens",
Kiyomizu-Dera Temple, Kyoto
- 2016 "Opening the another world-Traditional monsters scroll and Contemporary art", Akita museum of art, Akita
"IMAYŌ : JAPAN'S NEW TRADITIONISTS",
The Art Gallery of University of Hawaii/ Honolulu Museum of Art ,Honolulu
"NIHON-GA-Searchi for a New Horizon-", Toyohashi City Museum Art & history, Aichi
- 2017 "IMAYŌ Connecting Past and Present", Shibuya Shoto Museum of Art, Tokyo
40th anniversary exhibition "Omokage-Monogatari- stories of memories"
Taro. Yamamoto's works and museum collections, Shimada Museum of Art, Kumamoto
- 2018 "The 7th Kaii Higashiyama Memorial Nikkei Japanese Painting Award. Exhibition",
Ueno Royal Museum, Tokyo
"Exhibition Nihonga", MICHEKO GALERIE, Munich, Germany
- 2019 "UTSUSHI Taro Yamamoto x Shinichi Miyagawa 2-person exhibition",
Ginza Mitsukoshi 7th floor gallery, Tokyo
"Beauty of Japanese Art and Design From Rimpa and Ukiyo-e to Present Art",
Toyama Prefectural Museum of Art, Toyama
-

imura art gallery | Press Release

- 2020 Meiji Jingu Forest Festival of Art "Shikansuiyo-Beautiful Forest and Nature", Meiji Shrine Museum, Tokyo
Reopening Celebration I "ART in LIFE, LIFE and BEAUTY", Suntory Museum of Art, Tokyo
- 2022 "ART@DAIMARU", Daimaru Kyoto store, Kyoto
"TIDE - When the tide takes shape", Kagoo, Osaka
- 2023 "VOCA 30th Anniversary 1994-2023 VOCA30 Years Story / Kobe "
Hyogo Prefectural Museum of Art Oji Branch Haradanomori Gallery, Hyogo
- 2024 "Shin Japanese Painting: Revolutionary Nihonga" Pola Museum of Art, Kanagawa

◆Public Collections

Kyoto University of Art and Design
Kentucky Fried Chicken Japan Ltd.
Dai-ichi Life Insurance Company, Limited
Tohokushinsha Film Cooperation
Shiinoki Cultural Complex, Ishikawa
Contemporary Art Museum, Kumamoto
Art Gallery of New South Wales, Sydney, Australia
National Gallery of Victoria, Melbourne, Australia
Minneapolis Institute of Arts, Minneapolis, USA
Nintendo Co., Ltd.
Sato Art Museum
Shimada Museum of Art
Tsunagi Art Museum

◆Awards

- 1999 The 4th Shell Art Award
2000 Philip Morris Art Award 2000
2007 VOCA Prize
2012 The 5th Nikkei Nihonga Prize
2015 The 6th Nikkei Nihonga Prize
2015 Kyoto City Artist Prize
2015 Kyoto Prefecture Cultural Award, Encouragement Prize
2018 The 7th Nikkei Nihonga Prize

imura art gallery

31 Kawabata-higashi Marutamachi
Sakyo-ku, Kyoto, 606-8395 Japan

Tel : 075-761-7372 Fax :075-761-7362
E-mail : info@imuraart.com

